

改定版田原市人口ビジョン(案) 概要版

1 改定版人口ビジョンの目的

改定版人口ビジョン策定の目的

田原市は、長期的に総人口及び若年人口ともに大幅な減少が予測されており、将来に亘って活力を維持していくためには、人口減少を最小限に止める必要があるため、2015年に長期ビジョンである人口ビジョンを策定しました。

成果を生み出すまでに長い期間を要する人口減少対策・人口増加の取組を着実に推進し、人口減少を和らげるため、人口の現状の整理と予測される将来人口の姿を明らかにし、今後の取組の方向性を示すために、人口ビジョンを改定します。

改定版人口ビジョンの計画期間

人口ビジョンは、2040年度を目標に、本市が目指す将来人口の姿と、今後の取組の方向性を示します。
口計画期間 2020年⇒2040年

2 将来人口構想

目指す将来像

本市が策定した第1次総合計画(改定版)では、今後のまちづくりの視点として「市民の幸福」にスポットを当て、「みんなが幸福を実現できるまち」をまちづくりの理念として、「うるおいと活力のあるガーデンシティ」を、10年後の将来都市像と掲げています。

この改定版田原市人口ビジョンにおいても、海と緑に包まれた渥美半島の中で、活発な産業と豊かな暮らしが共存する美しく誇りあふれる田園都市の実現を目指すことを共通の理念として、「うるおいと活力のあるガーデンシティ」を目指す将来像とします。

目指す将来像「うるおいと活力のあるガーデンシティ」

基本方針

本市では人口減少の克服に取り組む基本方針として次の4点を掲げます。

基本方針1

地域において安定した雇用を創出する(雇用の創出・就労促進)

基本方針2

人口の流出を防止するとともに、移住を促進する(定住・移住促進)

基本方針3

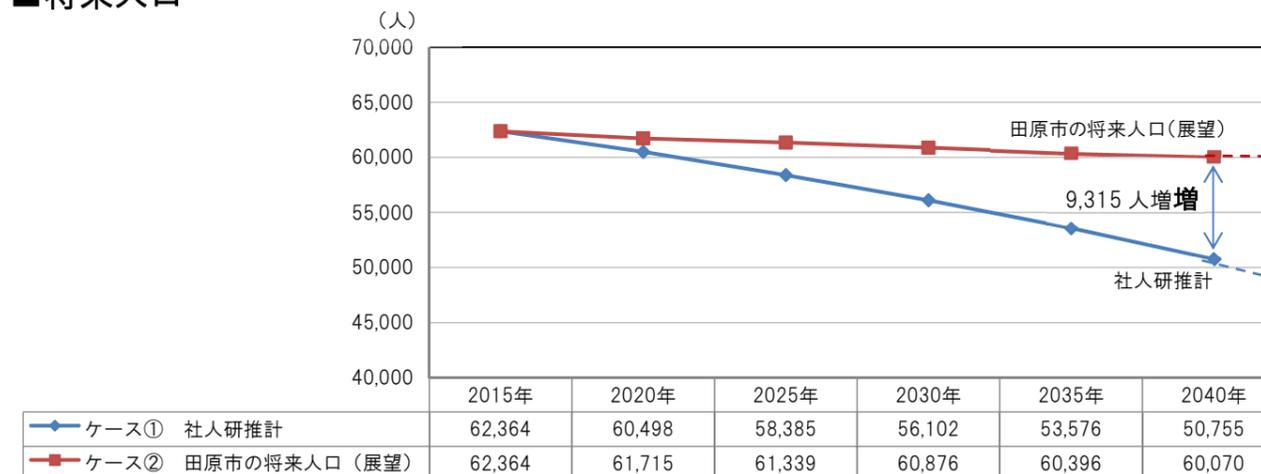
切れ目のない子育て支援で若者の希望をかなえる(結婚・出産・子育て支援)

基本方針4

地域の魅力や住み良さを向上させる(地域の魅力・住み良さ向上)

基本指標

■将来人口



社人研推計：国立社会保障・人口問題研究所(社人研)が将来の人口を推計。(2018)
田原市の将来人口(展望)：出生率は、社人研推計準拠をベースに、合計特殊出生率が上昇した場合のシミュレーション。
合計特殊出生率は、2015～2024年1.66、2025～2039年1.8、2040年2.07。
人口移動は、2040年時点で60,000人程度の維持に必要な移動数を独自に設定。
※国から提供された「人口動向分析・将来人口推計のためのワークシート」に基づき算定

本市の人口は、これまで緩やかな増加傾向にありましたが、2005年から2010年にかけて減少に転じています。社人研推計によると2040年の市の人口は50,755人まで減少するとされています。

しかしながら、本市は臨海工業地帯や農業・観光等の産業を有しており、これらの産業の活性化やまちの未来を担う若年世代の居住誘導、さらに少子化対策など戦略的な取組等を推進することにより、人口減少を和らげ、まちの活力を維持することとします。

「定住人口」は、人口増加に寄与する様々なハード・ソフト施策を積極的に進めることで、2040年に60,000人程度の維持を目指します。

■出生率(合計特殊出生率)

本市の合計特殊出生率は、現在、国・県より高水準の1.66(人)となっていますが、子どもを生み、育てやすい環境づくりを推進すること、また、男性・女性ともに安定して働くことのできる環境を整えていくことで、2040年には合計特殊出生率を人口置換水準(2.07)まで上昇させることを目指します。

■社会動態

本市は、就職や結婚・出産、大学進学時に若者の市外転出があり、この社会動態の抑制が必要となっています。若者が地元に住むことを選べるような環境や、臨海部に勤める方などの住居基盤を整えることで、社会増減が均衡することを目指します。特に若年世代に的を絞って、積極的な転入促進と転出抑制の施策を展開します。